

「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プラン 令和5年の取組状況及び令和6年の取組方向（案）

1 令和5年の取組状況

項目（プラン体系）		令和5年の主な取組	
安全 安心 な まち づく り	意識づくり 一人一人の「犯罪抵抗力」を育む対策	犯罪情報等の発信・共有	○ 多様な広報媒体を活用したタイムリーな情報発信
		自主防犯意識の啓発	○ 効果的な啓発活動の実施 ○ 参加・体験型の防犯講習会等の開催 ○ インターネット利用における防犯意識の向上
		規範意識の向上	○ 学校・地域における青少年健全育成の促進
	地域づくり 地域ぐるみで「犯罪抑止力」を高める対策	子供・女性・高齢者等の安全確保	○ 防犯指針を踏まえた防犯活動の推進 ○ 子供・女性の犯罪被害防止対策等の推進 ○ ストーカー被害・配偶者暴力被害に対する支援  ○ 高齢者等の犯罪被害防止対策等の推進
		持続可能な自主防犯活動の推進	○ 防犯ボランティア団体等の活動の活性化・定着化 ○ 青色防犯パトロール活動の支援 ○ 防犯リーダーの育成
		事業者による防犯対策の推進	○ 防犯 CSR 活動の促進 ○ 職場防犯リーダーによる情報発信
		健全で魅力あるまちづくりの推進	○ 健全で魅力ある繁華街・歓楽街の形成
	環境づくり 「犯罪予防力」の高い生活環境を整える対策	防犯に配慮した生活空間の整備促進	○ 犯罪の防止と安全の確保に配慮した道路等の整備 ○ 犯罪の防止に配慮した住宅の普及 ○ 防犯カメラ等の設置促進 ○ 犯罪の起こらない店舗づくりの推進
		安全安心を支える体制と基盤の整備	○ 連携体制の整備・強化 ○ 犯罪被害者等への支援の充実 ○ 薬物乱用防止対策の推進
		多文化共生を可能とする社会基盤の整備	○ 在留外国人等の相談窓口の拡充と利用促進 ○ 在留外国人の地域活動参画の促進
		観光客の安全確保に向けた取組の推進	○ 観光事業者等との連携による防犯情報の提供 ○ 観光地における安全な公共空間の確保
		安全なサイバー空間の確保	○ スマートフォン等のフィルタリングの利用促進 ○ サイバー空間における浄化活動の推進



令和5年の取組を踏まえた現状と課題

- ◎減少傾向にあった刑法犯認知件数が、自転車盗などの多発により増加している。
- ◎特殊詐欺の認知件数及び被害額が、高齢者を中心に架空料金請求詐欺などの被害の多発により増加している。
- ◎通学路等における子供の安全確保が求められる中、防犯ボランティアは高齢化し、減少傾向にある。次世代ボランティアの育成や「ながら見守り」の普及などの子供の見守り対策が急務となっている。
- ◎防犯カメラの市町による設置又は補助金を活用した民間設置は進みつつあるが、補助金制度を設けている市町は一部にとどまっている。
- ◎インターネットの利用に係る犯罪は、特殊性と専門性が高いことから、適切な利用方法など被害に遭わないための対策が必要となっている。



2 令和6年における取組方向（案）

プランに基づく取組を引き続き推進

- 《重点項目》
- 1 不安を感じる犯罪の抑止**
    - 防犯カメラの設置促進
    - 施錠意識向上施策の推進
  - 2 子供・女性・高齢者等の安全確保**
    - 防犯ボランティア団体の活動の活性化
    - 県民・事業者による「ながら見守り」の推進
  - 3 特殊詐欺被害の抑止**
    - 固定・携帯電話対策の推進
  - 4 インターネット利用犯罪被害の防止**
    - 防犯講習会の開催及び参加促進
    - 情報発信・最新手口の共有